

2026年3月からの商品改定の実施について

大阪大学生活協同組合

※改定内容が多岐にわたるため、前半に具体的な改定内容、後半に改定の背景等について説明しています。

(1)商品改定の具体的な内容について

【カフェテリア業態～基本食堂～でのメニュー・価格の改定について】

1. ライス類

- ・盛り付け量を見直し(ミニライスは据え置き、小サイズは10g減量、中サイズは20g減量、大サイズは30g減量)、g単位で約6-12%の値上げとなるような形で価格設定します。
- ・厚労省の20代身体活動レベルの推定エネルギー必要量から設計した量目へ変更しています。
- ・米価格の高騰が止まらず、ライス単品g当たり単価は中サイズで9%程度値上げとなっています。

	現行の量目	26年3月～量目	現行の価格	26年3月～価格	備考
ライス大	310g	280g	¥231	¥231	男性身体活動レベルⅢ相当
ライス中	240g	220g	¥187	¥187	男性Ⅱ、女性Ⅲ相当
ライス小	170g	160g	¥143	¥143	男性Ⅰ、女性Ⅱ相当
ライスミニ	100g	100g	¥88	¥99	女性Ⅰ相当

※ライス単品も丼カレーもテイクアウトも、サイズが同じであれば量は同じです。

2. 主菜について

- ①これまで図書館下食堂、匠では、主菜の商品に付け合せ(ガロニ)として、キャベツをつけていましたが、26年度からは廃止します。共通する商品については全店同じ形での提供となります。
- ・この二つの店舗で展開する商品の価格と商品数のイメージは次の通りとなります。

25年度		26年度	
価格帯	商品数	価格帯	商品数
385	1		
341	1	341	2
297	3	297	2
253	2	253	3

・具体的な商品イメージは下記のようになります。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
主菜	唐揚げ・チキン南蛮	¥385	¥341	ガロニ無へ
	ジューシーチキンカツ・ローストチキン	¥385	¥341	ガロニ無へ
	豚生姜炒め等、肉量を増やし肉炒めへリニューアル	¥297	¥297	※内容リニューアル
	トンカツ	¥341	¥297	ガロニ無へ
	煮物系	¥297	¥297	
	ハンバーグ	¥297	¥253	ガロニ無へ
	白身フライ・海老カツなど海鮮系揚げ物	¥297	¥253	ガロニ無へ
	鯖味噌煮・鯖塩焼き・他	¥253	¥253	

②ファミール、かさね、Bisyoku の場合は同様です。(大きな変化はありません)

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
主菜 (ガロニ無)	唐揚げ・チキン南蛮	¥341	¥341	
	ジューシーチキンカツ・ロースチキン	¥341	¥341	
	豚生姜炒め等、肉量を増やし肉炒めへリニューアル	¥297	¥297	※内容リニューアル
	トンカツ系	¥297	¥297	
	鶏ちゃんこ煮・シチュー他	¥297	¥297	
	ハンバーグ	¥253	¥253	
	白身・海老カツ	¥253	¥253	
	鯖味噌煮・鯖塩焼き・他	¥253	¥253	

3. 副菜について

①たまご加工品について価格改定します。

- ・オクラ巣ごもり玉子については 132 円(現行 99 円)に改定します。
- ・温泉玉子(朝食時間帯のみ提供)は 99 円(現行 55 円)に改定します。
- ・出し巻きたまごは 99 円(現行 77 円)に改定します。

②上記以外の 99 円で提供していた商品は変更ありません。

③77 円で提供していた一部商品については量目を見直すことで価格を維持します。

- ・ほうれんそう、ひじき、きんぴらやポテサラなどが対象です。

④55 円で提供していた商品は停止ないしは価格・量目の見直し 77 円での提供とします。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
副菜	オクラ巣ごもり玉子	¥99	¥132	
	現行99円ライン副菜	¥99	¥99	
	ひじききんぴら・ポテトサラダ・マカロニサラダ(一部50g⇒40g)	¥77	¥77	
	納豆(30g⇒45g)	¥55	¥77	g単位同等
	ミニサラダ(33.3g⇒40g)	¥55	¥77	実質10円程度UP

(※たまごを使用した副菜については、多くの他生協では 25 年 9 月より改定済み)

4. 汁物

・豚汁は量目を見直し、22 円提供価格を下げることで手に取りやすい価格とします。

(132 円→110 円)

・味噌汁は変更ありません。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
汁スープ	豚汁 (180cc⇒144cc、葱無し、cc単位はほぼ同等)	¥132	¥110	cc単位同等
	味噌汁	¥44	¥44	

5. デザート

- ・ケーキなど一部品目を中心に値下げします。フルーツヨーグルトは量目を見直し、手に取りやすい価格とします。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
デザート	ケーキ	¥176	¥165	¥-11
	大学芋	¥121	¥121	
	フルーツヨーグルト (量目減少だがg単位はほぼ同等)	¥132	¥99	g単位同等
	個包装・焼きプリンタルト・クレープ	¥99	¥99	

6. 丂・トッピングカレー

- (1)中サイズの丂・トッピングカレーについては 22 円値上げします。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
丂	海鮮系丂 (ライス量 中: 20g減、小: 10g減)	¥561	¥583	¥22
		¥473	¥495	¥22
	豚塩カルビ丂・麻婆茄子丂・和風かつ丂など (ライス量 中: 20g減、小: 10g減)	¥506	¥528	¥22
		¥418	¥440	¥22
トッピングカレー	カツカレー (ライス量 中: 20g減、小: 10g減)	¥506	¥528	¥22
		¥418	¥440	¥22

・かさねの「ケバブプレート」も同様の考え方で改定します。

- (2)カレー(単品)

- ・生活支援的な位置づけで、低価格での提供を維持することを目的に、中サイズは 22 円値下げします。
- ・トッピングカレーとの価格差は税込 165 円(税抜 150 円)となります。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
カレー	カレー (ライス量 中: 20g減、小: 10g減)	¥385	¥363	¥-22
		¥297	¥286	¥-11

- (3)欧風カレー(かさね、吹田 DonDon、匠、時々福利3F にて提供)

- ・欧風カレーは、ライス 20g 減のうえ、価格据え置きとします
(税込み 539 円、税抜き 490 円)
- ・トッピングカレーの場合は、他の商品と同様、+税込 165 円(税抜 150 円)とします。

(4)三種豆のベジタブルカレー/大豆ミートのキーマカレー

- ・ライス20g減量のうえ、20 円(税抜)アップとします。

現状 税込 704 円(税抜 640 円)

→ 26 年 3 月より 税込 726 円(税抜 660 円)

8. 麺類

- ・うどん・そばメニューについては、内容に応じて、22～33 円値上げします。
- ・冷うどん・そばについては商品をリニューアル予定です。
- ・中華麺は低価格帯で 11 円、高価格帯で 44 円値上げします。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
和麺（冷）	冷やしおろし・山かけ・かき揚げうどん・そば（内容変更あり）	¥440	¥517	内容リニューアル
和麺（温）	肉・鶏天・海老天うどんなど	¥440	¥473	¥33
	かき揚げ・きつね・カレーうどん・そば	¥374	¥396	¥22
	かけうどん	¥286	¥308	¥22
中華麺（冷）	冷やし担々麺・蒸し鶏胡麻冷麺	¥550	¥594	¥44
中華麺（温）	担々麺・鶏白湯ラーメン等	¥506	¥550	¥44
	ラーメン（醤油・塩・味噌・豚骨）	¥462	¥473	¥11

9. セット・定食

- (1) 29 円～33 円の範囲で値上げ、3つの価格帯で商品を展開します。
 (ミニライス、99 円副菜、味噌汁、主菜の場合)

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
セット・定食	新規高価格帯ライン		¥627	新規
セット・定食	中価格ライン（とんかつ、チキンカツ定食など）	¥550	¥583	¥33
セット・定食	低価格ライン（ハンバーグなど）	¥510	¥539	¥29

(2) 朝定食(かさね)

- ・396 円で提供している朝定食については価格据え置きとします
 - ・豚汁定食は 20 円アップします。
- 現状、税込 275 円(税抜 250 円)
 → 26 年 3 月以降、税込 297 円、税抜 270 円

【店舗製造品の取り扱いについて】

1. テイクアウト弁当

- ・価格帯を一律 40～50 円の範囲で値上げをし、内容もイートインメニューに準じて見直します。

分類	メニュー例	現行の価格	26年3月～	差
テイクアウト弁当（セパレート）	唐揚げ弁当・バランス弁当	¥530	¥570	¥40
テイクアウト弁当（丂）	唐揚げ丂・ロコモコ丂・豚塩カルビ丂など	¥480	¥530	¥50
テイクアウト弁当（丂）	そぼろ丂・カレー丂・麻婆丂	¥430	¥480	¥50

2. ベーカリー(焼き立てパン)について

- ・価格帯についての変更はしません。

【その他、阪大生協独自商品や坂・カルチエ・ひだまりについて】

1. 天津麻婆丼系、つけ麺、マチカネワニカレーについて：現状維持とします。

2. 坂・カルチエ・ひだまりについて：

一部商品を除いては、基本的には、価格維持を予定しています。期中で食材の大幅な値上げが発生した場合、見直す場合があります。

(1) 坂

- ・基本的には現状価格を維持します
- ・セットのライス量目を他店舗と同様に 20g 減量します。
- ・その他の商品に変更はありません。

(2) カルチエ

- ・全メニューの価格を据え置きます。

(3) ひだまり

- ・全メニューの価格を据え置きます。
- ・欧風カツカレーの提供を廃止します。

3. 匠で提供中のオリジナル商品について

①下記のオリジナル商品について価格を改訂します。

- ・ケバブプレート 税込 737 円(税抜 670 円) ※20 円アップ
- ・ケバブラップ 税込 737 円(税抜 670 円) ※40 円アップ
- ・ベジラップ 税込 517 円(税抜 470 円) ※30 円アップ

※その他の商品については、上記記載の通りです。

(2)改定の背景、設計にあたって重視しているポイントについて

1)改定の背景について

①コスト上昇への対応

- ・米価格高騰や最低賃金大幅引き上げの継続などにより、食材費・人件費・物流費等が増大し、現行組価では吸収できない状況が生じています。

②特に米価高騰について

- ・今年度産米は十分に生産・収穫されていますが、生産者からの集荷価格が昨年以上に高騰していることもあります、昨年以上の価格となっています。現時点では明確に下がる理由がないことが特徴です。

- ・どこかで値が下がるのではないか、との報道もありますが、明確な根拠がありません。

大学生協側も現時点では上半期分のみを契約する、他産地からの調達等の検討中です。

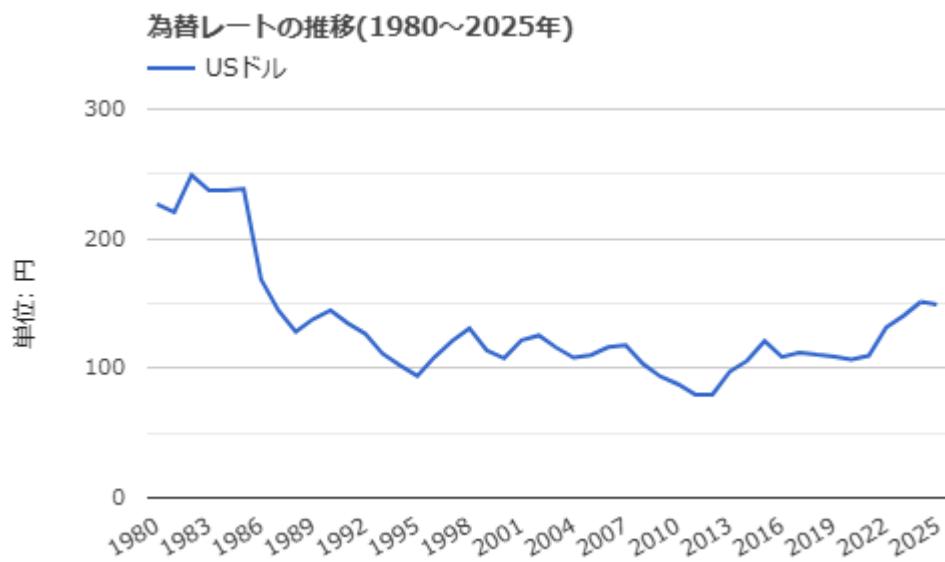
③最低賃金の大幅引き上げ

- ・この間、2030年を節目に最低賃金1,500円の実現を目指して大幅な改定が継続しています。

- ・お昼の短時間で多くの方に良質な食事を提供することを事業の主目的の一つとしている大学生協のフードサービス事業はどうしても瞬間的に多くのスタッフを揃える必要があり、最低賃金の大幅改定が経営に与える影響は大きいものになります。

④「円」の価値下落

- ・現在、1ドル155円前後(1ユーロ180円前後)で推移しています。食料自給率が低く、輸入し加工する(ないしは、海外で生産・加工したものを輸入する)ことが主流の日本の食料品生産事情では、円安傾向が続ければ、食材価格等の上昇につながりやすい状況にあります。





2)今回の改定の特徴点について

- ①この間実施していた一律的な商品の価格改定ではなく、量目・価格を含めた見直し・新商品の投入を含めて実施していきます。
- ②この事で重視しているのは、引き続き、主菜を中心とした食べ合わせ利用を楽しみながら、また、栄養バランスに配慮しながら、これまでと同価格帯での食事利用もできるよう設計しています。
- ・主菜・副菜・汁物・デザートについては値上げ幅の抑制、低価格帯への見直しを実施
(但し、オクラ巣ごもり玉子値上げや納豆など例外もあります。)

※これまで同様の取り合わせをしていただいた際に、同水準の金額にてご利用いただけるよう設計しています。

3)改定にあたって留意が必要な点について

- ①コスト増に対して、経費抑制を図りつつ、4～5%程度の範囲内での価格改定とします。
 - ・現在の提案では、店舗の収益性そのものを維持する提案となっています。
 - ～ただし、利用者への負荷を可能な限り控えた設計・提案としています。
 - ～大学生協全体としてのフードサービス事業の到達点は、本部・システムコストを負担する分を除くと、持続的成長が可能な事業と呼べない水準の到達点です。
- ・今回の改定提案は、来年度に向けたコスト増額分に対するものとなっています。
 - ～情勢に大きな変化がなければ来年も見直し検討が必要となる恐れがあります。

②改定内容説明の複雑さ

- ・量目の見直しを含めた改定となっています。いわゆる説明なき「ステルス値上げ」と受け取られないよう、例年以上に丁寧な説明をすすめる必要があると考えています。

③今回のメニュー及び価格改定の内容は、ある程度のボリュームを摂取したいと考える層にとっては、やや物足りないと感じられる可能性があります。

- ・こちらについては、ミールプランの1日上限額(700円⇒750円)を改訂、かつ、ミールプランの購入金額の上昇幅をなるべく抑制することで対応します。

4)大学生協のフードサービス事業(主に、カフェテリア業態)で大切にしていくこと

【特に、大阪大学生協として】

- ①主菜を中心とした食べ合わせ利用を楽しみながら、また、栄養バランスに配慮しながら利用できること
- ②多くの方が利用する昼食時間帯を中心に「スピード提供(早く利用できる)」「適温提供の維持」「食事に相応しい環境(クリンリネス)の維持」をはかること
- ③月次・組合員参加の企画も交えながら、楽しみながら利用していただくこと
- ④関連団体・企業等の協力もえながら、学生生活支援の取り組みも実施し、学生の日々の生活を支えていくこと

【特に、事業連合を通じて、全国の大学生協とすすめていくこと】

- ①全国の大学生協と協力し、事業連合を通じて、魅力的な商品の開発・提供をおこなっていくこと
 - ②全国の大学生協と協力し、事業連合を通じて商品調達力の向上を図り、価格の条件や機能に優れた食材・商品の調達・開発していくこと
- ・特に、コメの調達については、26年度中に新しい調達方針・取引先政策を検討する

資料

■参考:食品値上げ動向(帝国データバンク)

[「食品主要195社」価格改定動向調査 — 2025年10月 | 株式会社 帝国データバンク\[TDB\]](#)

[「食品主要195社」価格改定動向調査 — 2025年12月/2026年 | 株式会社 帝国データバンク\[TDB\]](#)